一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

KSKQ どかどか No.285

ぽぽんがぽん news

笑顔あふれ つながりあえる社会へ

～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～

あけまして おめでとうございます

旧年中も大変お世話になり、ありがとうございました。

2020年はまさに「withコロナ」の年でした。どこにいても、何をしていてもコロナを前提とした暮らしでした。春先は、「これがいつまで続くんだ・・・」と緊張を持続し続けることへのストレスも強く感じることが多かったように思います。しかし、人のすごいところで、継続は力なりなのか、ほどよい緊張感の維持に適応していけるものなんだな、とも感じました。

利用者およびご家族の皆様、職員の皆様お一人お一人のご努力のおかげで、この記事を書かせていただいている 11月中旬の時点においては、ぽぽんがぽん関係者の中から感染者の報告はありません。この場をお借りして、改めて労いと感謝の意をお伝えさせて頂きます。しかし、第３波の感染拡大が始まっており１日の新規感染者数は大阪で 300人を越え、東京では 500人を越え始めており、最高人数が日々更新されている状況です。否が応でも警戒や自粛を高めざる得ない時期です。このような状況の中で年の瀬を迎えていき、どのような年明けになっているのでしょうか。とはいえ、今なりの、今ならではの過ごし方を見付けていくしかないですね。久しぶりに、自宅で福笑いでも作ってみようかな？皆様、よいお年を迎えられているでしょうか？

さて、コロナによって障がい福祉分野にもいろいろな影響が出てきています。一般企業ほどではないでしょうが、ZOOMを筆頭としたICTの導入がさまざまな場面で進んでいます。ぽぽんがぽんでもZOOM環境の整備や、Googleのドライブ活用、チャットツールの試行実施などにも取り組んでいます。慣れるまでは一苦労ですが、可能性も広がると感じていますので前向きに取り組んでいきたいと思っています。就労支援の分野では、企業におけるリモートワークが進むことで社内のサポート社員が出社しないことで、障がいのある方が上手く仕事ができない状態があったり、ペーパーレスが進んだことで紙の処理に絡んだ軽作業が減少し仕事がなくなったなどという話も聞くことがあります。

また、SNSなどでは障がい福祉事業へ誘致するコンサルビジネスの広告を多く目にするようになりました。「8割が国からの給付金なので安定収入」「不況知らず」「コロナ禍に強い」あげくには「不労収入可」の文言まで見られます。このような情報を見ると、腹立たしく思う一方で、我々先駆法人がもっと果たさなければならないことを果たせてないのではないか？という反省の念を抱いています。

コロナ禍で迎える2021年、元来われわれが大切にし、実践し、謳ってきたものは何だったのか？ICT技術を活用しながら、いまいちど共有し発信していきます。GO TO インクルーシブ！

「afterコロナ」を待つよりも「overコロナ」であれるように頑張ります！

本年もよろしくお願い致します。

（事務局長 水野昌和）

～ 目次 ～

1 新年のご挨拶
2～3 知的障がい者の自立生活をひろげる取り組みとして
4 きょうのNANIKA
5 各場から／スタッフ紹介
6 ろくちゃんまちをゆく
7 後援会より／アルミ缶等回収お礼
8 求人募集／編集後記

知的障がい者の自立生活をひろげる取り組みとして

「ぽぽんがぽんで取り組んでいる「知的障がい者の自立生活」をテーマにと依頼を受け、10月18日枚方市社会福祉協議会の職員研修にお招きいただきました。当事者であるOsさんに毎回講師をしてもらうことは負担も大きく、今後職員が講師として取り組みをひろげていけるようにと考え、今回は事務局長水野昌和が講師としてお話させていただきました。枚方社協のみなさま本当にありがとうございました。
以下、当日ぽぽんがぽんから参加した職員の感想です。（太田吾郎）

この日はぽぽんがぽんから、自分を含め5人が話を聞きに行ってきました。
始まる前に、水野さんから「昔のことを質問されたら太田に、現在のことを質問されたら水上さんに振るからね」と言われ、大勢の前で話すことが苦手な私は、質問がこないことを願っていました。
高校でOさんに出会った時のことや、自分が独り暮らしをしているアパートに引っ越してきた時のこと、ヘルパーとして関わるようになってからのことなどを思い出しながら聞いていました。Oさんが独り暮らしを始めた頃は、田舎から送ってきた芋をお裾分けしに行ったり、ヘルパーさんからSOSがあって行ってみると、部屋の蛍光灯がコタツ近くまで下がっていて（引っ張る力が強過ぎたようです）『なんじゃこりゃ～』と驚いたりと、部分的なお付き合いで、どんな生活をしているかは殆ど分からないお付き合いでした。
ヘルパーとして関わるようになって、しっかり生活をされていることを知りました。
ちなみに、蛍光灯はリモコン式になっていました（^^）

自立生活スタートした時は、Oさんもヘルパーさんも、始めてのことだらけで、相当大変だったと聞きました。色々ある中でも日々積み重ね、今の生活スタイルを作って来られたのだと思います。誰でも経験しないと出来るようにならないし、選ぶことができないと思います。

今、そしてこれから関わる利用者さんが、自分で選べるよう、自分スタイルを作れるよう、今後も一緒に考えていければと思います。（太田由紀子）

枚方の社会福祉協議会より、依頼があった『Osさんの暮らしについて』に行ってきました。Osさんの過去の生い立ちや、昔のエピソードを改めて深く知るきっかけにもなりました。

最近では、知的障害を持つ方の自立生活をテーマとした、道草やバリバラが取り上げられることもありました。

今後このような研修やメディアなどを通じて、知的障害を持つ方の自立生活についての認知度が高くなり、様々な分岐点に立った当事者の方たちが、施設だけでなく地域で自立生活をするという選択肢もあるのだ、というきっかけに少しでもなれば良いなと思いました。

また、このような仕事もあるんだというきっかけの一つになれば良いなと思います。

（水上有加）

少し前、地域の自治会役員を頼まれた知的障がい者が、障がいがあり難しいと免除してもらいたい旨を伝えていたが、なかなか受け入れてもらえず、自らの命を絶ったというニュースを見た。必要な支援が足りないこと、周りの理解がなかったことを残念に思った。

Oさんも、歩いていて突然「うるさい！！」と発し、前を歩いている人がびっくりして振り返ったり、スーパーで他の人が持っているカゴの中身を指さして食材の名前を言われたり、ヒヤッとする場面はたくさんあるが、「今日も元気やね」と笑って言ってもらえたりすることもあるのは、地域でしっかりとOさんが生活してこられた賜物だと思う。

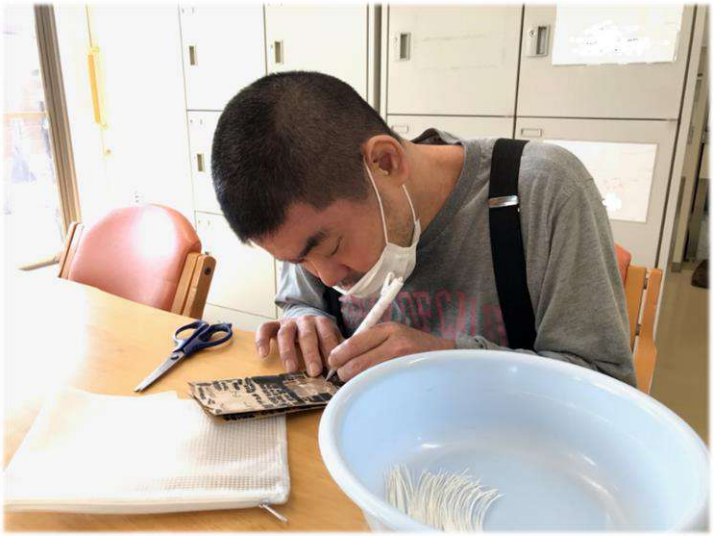
Oさんに「Oさんの家は？」と聞くと、「〇〇（地名）の家」と答えられる。

うまくいかないところもありながらも、自分なりに納得がいく生活をしているんだ！、私らしく生きているんだ！という気持ちの表れだと思いたい。

長時間の支給決定、安定したヘルパーの確保という課題はあるが、自分らしい生活を送れるよう、Oさんのような生活をもっと知ってもらいたいと思う。（加登）

きょうのNANIKA

生活介護事業所ぽかぽか・どかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、
私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなぁ…」と感じた「何か」。
名前をつけたり説明してしまう前に、まず色んな人に見て欲しい、
そして一緒に考えられたら良いなと思います。



Story

ぽかぽかに通う田井明さん。休憩時間、「ボールペン」
とスタッフに話して、ポーチに入れて持参した紙袋に
ペンで文字を書き込んでいきます。
「これは何を作ってるんですか？」と聞くと「大阪環状線！」
字の向きや大きさ、配置はどう決まってるんやろう、
何の字を書くんやろう、黒く塗りつぶした部分は何やろう、
田井さんは迷いなく、次々と文字を書き込んでいきます。
ここに載せた写真は少し前のもので、この間見せてもらうと、
もっとたくさん書き込まれていて、
かなり隙間が少なくなっていました。
すごいなぁ、僕にはこんなセンスないな、
こういう文字のアートってスタバとか
おしゃれ喫茶店のクッキーが入ってたり
するような…売れるんじゃ…
いやそういう考えは僕の野暮で、
これは田井さんのもの。
「すごいなぁ」というだけでいいよな。
そんな田井さんの「何か」です。

（題字：林裕之さん　文：山根）

各場から

子ども・若者自立支援部門
茨木市ユースプラザCENTER「エント」

こんにちは、ユースプラザ「エント」です。
「エント」はおおむね中学生～39歳の子ども・若者が、しんどいときや辛くなったとき、ほっと一息つきたくなったときに、安心して過ごすことができる居場所です。ふれあい・交流サロン、自学自習の場を開催しているほか、定期的にイベントやセミナーを実施しています。

場所は、男女共生センターローズWAM(茨木市元町4番7号)と、上中条青少年センター(茨木市上中条二丁目11番22号)で、いつもは 9時～16時まではローズWAM、17時～21時は上中条青少年センターで開設しています。ただ、今は(※原稿作成時11月)ローズWAMが工事中のため、12月いっぱいは上中条青少年センターで昼から夜まで居場所とサロンを開催しています。
写真は新型コロナウイルス感染拡大前の様子です。いまはこんな風に近い距離で会話を楽しむことはできていませんが、いつかコロナウイルスが落ち着いた時には、こんな風に誰かと身近に過ごす時間を取り戻していきたいと思っています。

スタッフ紹介

子ども・若者自立支援部門
茨木市ユースプラザCENTER「エント」

今回はエントの上村武史さんをご紹介します。
武史さんは、プロレスが趣味のエントの管理者です。コロナウイルスの感染拡大の影響を受けるまでは、エントのプロレス好きの利用者さんと熱い戦いを繰り広げてきました。お仕事では、外に出たくてもなかなかでられないという利用者さんのお家に訪問し、エントに来やすくなるように日々頑張っています。自転車や自動車であちこちを行ったり来たりしていますので、もし訪問中の武史さんをみかけたら声をかけてみてくださいね。

ろくちゃんまちをゆく NO.97

こんにちは。今回はＵＤタクシーの比較検証会について書かせてもらいます。ＵＤタクシー（ユニバーサルデザインタクシー）とは、誰もが乗れるタクシーとして、トヨタからJPNタクシー、日産からNV200 バネットチェアキャブ（以下NV200）の車両があり、車椅子のまま乗車できます。

乗車の方法は、JPNタクシーは運転手さんが後部座席横に取り外し可能なスロープを設置することで車椅子で乗車ができます。NV200は後方バックドアを開け運転手さんが装備されているスロープを引き出すことで、車椅子で乗車ができます。

両方、乗車でき画期的ですが、JPNタクシーは、スロープの設置から乗車・車椅子の固定までに 10分くらいかかります。運転手さんがスロープ設置についての段取りを覚えていなかったら 20分くらいかかってしまいます。さらに、横から乗車した電動車椅子を正面に向けるためには、狭い車両の中で前やバックの切り替えを 10回くらいし車椅子の固定をします。

ＵＤタクシーの検証中（JPN）

ＵＤタクシーの検証中（NV200）

NV200は、車体にスロープが装備されているため運転手さんはスロープを引き出すだけで、電動車椅子でスロープ上を前進すれば乗車が完了します。あとは車椅子の固定となります。

乗車、降車の場所ではJPNタクシーは、後部座席横からの乗車のため車道と歩道に段差のない場所が必要です。さらにスロープの長さと車椅子の長さをあわせたおよそ 2.5ｍくらいの距離を確保する必要があります。例えば流しでJPNタクシーに乗ろうとすると、それらが揃った場所で呼び止めなくてはいけません。

NV200 は後ろからの乗車になります。後ろのスペースは確保のしやすさがあります。既存の福祉車両としても使用されていることがあります。

JPNタクシーの車両では「スロープの設置方法がわからない」や「乗車場所」など運転手さん側の理由で待っていても停まってもらえない・乗車を断られるなど全国的にも多く、改めて比較検証会で課題として浮彫になりました。

この比較検証会は、移動等円滑化評価会議　近畿分科会の委員提案で行いました。移動等円滑化評価会議とは国土交通省がバリアフリーの状況を当事者も参画して把握・評価していくところで、2019年2月より開催しています。地方の声を反映させるため、地方10箇所に分科会が設置されました。私は近畿分科会の委員として 2019年6月に移動等円滑化評価会議近畿分科会を開催、2020年2月に上記の比較検証会を実施しました。当事者・学識経験者・行政の方総勢30名規模で実施できたことは良かったと思います。

今度はJPNタクシーを製造・販売しているトヨタにフィードバックできればと思います。そして、さらに良い車両を作って欲しいと願っています。（六條友聡）

社会福祉法人ぽぽんがぽん後援会

「つながりの会　ぽぽんがぽん」

皆様にはいかがお過ごしでしょうか？

昨春の新型コロナウィルス発生により、今年度の活動はほとんど休止の状態になりました。総会も急遽書面表決にさせて頂いたり、隔月の役員会もソーシャルディスタンスを保ったり、リモート会議へと変更になったりしました。「新しい生活スタイル」が避けられない現状の中では仕方がありませんが、慣れない状況についていけない部分も多々あり、ストレスを抱える･･･ことにもつながっています。交流会他、行事を楽しみにしていて下さった会員や当事者の方々には寂しい思いもさせてしまいました。以前のような生活にはもう戻れないのかと不安も残りますが、気兼ねなく会ったりお喋りできる日が又来ることを信じて日々過ごしたいと思います。（村上和子）

ご寄付ご協力ありがとうございます！

ご寄付等のお礼　2020年9月1日～2020年11月30日まで（順不同）

※郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は次号にて掲載させていただきます。

● 社会福祉法人ぽぽんがぽんへのご寄付ご協力ありがとうございました。

鎭山様　長島様　村上様　中埜様　埴淵様　つながりの会ぽぽんがぽん様　匿名の皆様

● つながりの会ぽぽんがぽん（後援会）へのご寄付ご協力、ありがとうございました。

【ご寄付頂いた方々】 ゆかいなおしゃべりマジック森田様　匿名の皆様

【募金箱のご協力（回収）】 埴淵様　村上様　大塚様　withyou 様　そぶえ歯科様　王将阪急茨木駅前店様

ファミリーマート並木町店様　くろす様　グループホームさくら様　今村様

● アルミ缶・牛乳パック提供ありがとうございました。

【アルミ缶】ハロハロ様　埴淵様　舟橋様　淺野様　作業所へ持参してくださった皆様

【牛乳パック】関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様

菜の花障害者相談支援センター様　作業所へ持参してくださった皆様

社会福祉法人ぽぽんがぽんへご寄付をご希望される方は、ゆうちょ銀行へお願いします

＜払込取扱票を使用する場合＞
口座記号口座番号：00930-0-212299
口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぽん

＜ゆうちょ銀行以外をご利用する場合＞
銀行名:ゆうちょ銀行　金融機関ｺｰﾄﾞ:9900
店番:099　　預金種目:当座
店名:〇九九(ｾﾞﾛｷｭｳｷｭｳ)
口座番号:0212299
口座名称(漢字):社会福祉法人ぽぽんがぽん
口座名称(カナ):フク)ポポンガポン

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございました。

男性利用者さんへのヘルパー大募集（同性介助）

時給　　：1,200円
勤務時間Ａさん：17 時-21 時／21 時-翌９時または 10 時
　　(土)(日)(祝)９時-21 時　17 時～翌９時また 10 時まで通し勤務可！
勤務時間Ｂさん：(月) or(火)or(金)の８：00-14：00
　　(土)８：00-14：00／14：00-20：00／20：00-翌８：00
　　(日) ８：00-14：00／14：00-20：00
必須資格　　:介護福祉士、実務者研修等、初任者研修以上の資格または重度訪問介護研修修了者

野球好き。ガンバ大阪好き。
観戦ガイドも楽しめる方。
YouTube などを一緒に見て楽しめる方。

昭和のアイドルや、
野球選手、お笑い芸人などの話が好き。
利用者さんの発言をおおらかに受け止めていただける方。

詳細、応募方法はHPで！

編集後記

男性ヘルパーが足りない。今いる人はみんな長ぁーくやってくれている。一度やってみれば、長ぁーく続けたいと思えるはずなのだが・・・。

思い出せば、ぼくがここに関わるきっかけも、うちの母あてに届いていたどかどか通信の「職員募集」をみて、野村孝治君に紹介し野村君がどかどかで働くようになったのが縁のはじまりであった。

ご購読のみなさま、ぜひ、お知り合いにヘルパーやってみてはとお声かけいただければありがたいです。資格は後で取ってもらえるので、無資格でもぜひお問合せください！（太田吾郎）

【　社会福祉法人ぽぽんがぽん　各場連絡先　】

- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援、移動送迎
  〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F　Fax 共通　072-623-9203
  法人本部　Tel 072-623-9202　(9:00～18:00)
  グループホーム窓口　Tel 072-623-9202　(9:00～18:00)
  移動送迎　Tel 072-623-9202　(9:00～18:00)
  ヘルパー派遣　Tel 072-623-9205　(9:00～18:00)
  相談支援　Tel 072-623-9210　(9:00～17:00)
- いばらき自立支援センター「ぽかぽか」　(8:30～17:30)
  〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20　Tel 072-635-5762　Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」　(8:30～17:30)
  〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS　Tel 072-637-6882　Fax 072-637-6883
- 茨木市立障害者就労支援センター　かしの木園　(8:45～17:15)
  〒567-0031 茨木市春日 1-15-22　Tel 072-626-5910　Fax 072-626-5912
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす　(10:00～19:00)
  〒567-0842 茨木市片桐町 4-7　Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント　(10:00～19:00)
  〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室　Tel 080-1521-4624

編集人：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」　TEL（072）623－9202（お問い合せはこちらまで）
〒567-0888 茨木市駅前1-4-14 エステート茨木駅前3F 社会福祉法人ぽぽんがぽん（法人本部）
発行人：関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2東興ビル4F　定価：５０円

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行